

水稻の高温対策を実施しましょう！

平成 27 年 8 月 18 日
埼 玉 県 農 林 部
JA グループさいたま

今年の夏は、これまでも高温で推移しておりますが、気象庁が8月13日に発表した、1か月予報では今後も高温で推移することが見込まれています。

引き続き、水管理や刈遅れに注意してください。

1 早植栽培（5月中下旬植え）

現在、穂揃い期～登熟中期にあります。今が白未熟粒発生危険期です。朝かたに入水し間断かん水を継続し、根の活力維持に努めてください。限られた用水ですので、無駄な掛け流しはせず、有効に使いましょう。

2 普通栽培（6月植え）

現在、穂ばらみ期～出穂期にあります。この時期は最も水が必要です。朝かたに入水し、深水を維持してください。開花が終わったら間断かん水に移り、根の活力維持に努めてください。

3 今後の対策

○早期落水は避けて登熟の向上を！

早期落水すると、白未熟粒の発生や登熟阻害を助長するので、落水は極力出穂30日後に行いましょう。

○適期の刈取りを！

今年は、高温のため例年より収穫適期が進み、刈遅れによる胴割米や茶米の発生が懸念されます。適期に刈取りを行いましょう。

刈取りの目安（登熟積算気温から推定した目安）

品 種	田植え日	出穂期	刈 取 適 期
コシヒカリ	5 / 1	7 / 22	8 / 22 ~ 8 / 26
キヌヒカリ	5 / 14	7 / 30	8 / 31 ~ 9 / 4

○適正な乾燥調製で最後の仕上げを！

急速な乾燥は胴割米の発生を招くので、適正な送風温度で乾燥しましょう。